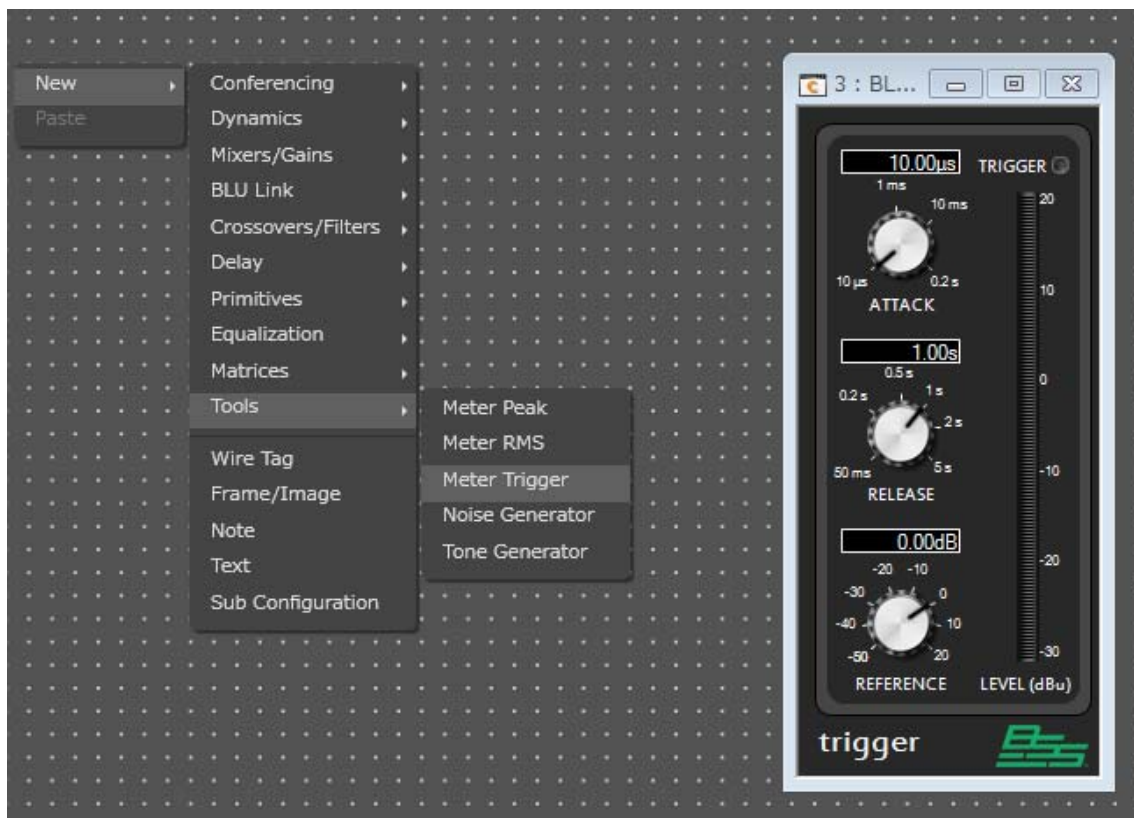


音量によりトリガーを出す方法

音量メーターが閾値を超えたときに、トリガーを出したい時などに便利なオブジェクト「Meter Trigger」があります。



Attack time control

どれくらいの時間閾値を超えたらトリガーを出すのかを設定します。

Release time control

復帰するまでの時間を設定します。

Reference control

閾値を設定します。(初期値は0です。)

TRIGGER

閾値を超えるとLEDが点灯します。

閾値以下になると消灯します。

注意点として

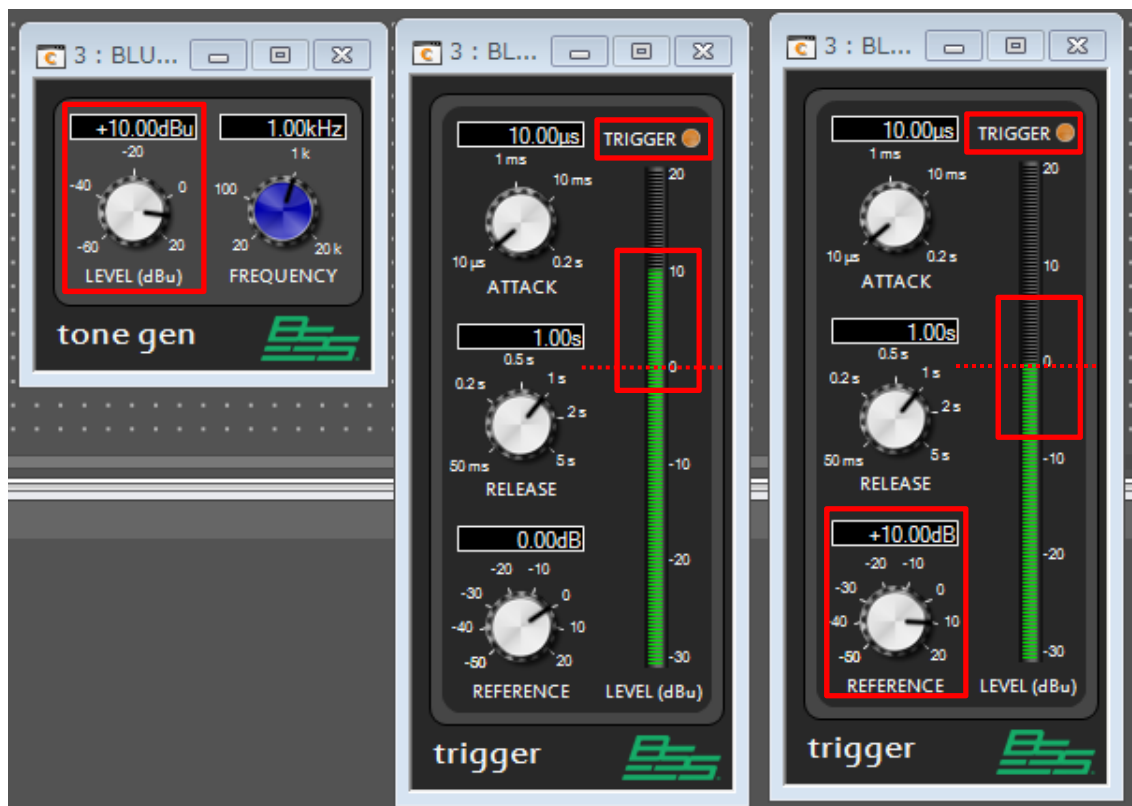
Meter Trigger は、メーター上の「0」の位置で、トリガーが発動します。

そのため、相対的に、「REFERENCE」を操作することで、トリガーの値を変更します。

例えば、

音量が「+10dB」の時、トリガーを発動させたい場合は、「REFERENCE」を「+10dB」に設定します。

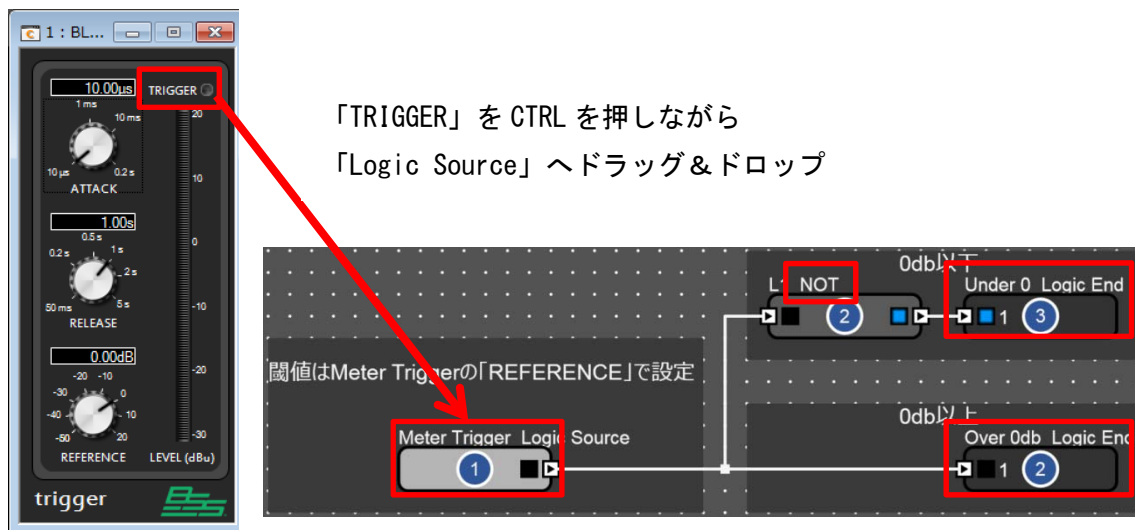
ここはメーター表示のタイミング設定になるので、実際の音量レベルとは異なります。



応用として、

閾値を超えたときに GPO へ出力したい場合、ロジックを組むと LED を点灯させることができます。

シンプルに「Logic Source」と「Logic End」を接続し、閾値を超えたら「1」を取り出せますし、下図のように「Logic Source」と「Logic End」の間に「Not」オブジェクトを配置すると、閾値以下の時にも「1」を出力させることも出来ます。



それぞれの「Logic End」を GPO へドラッグ&ドロップし、本体の GPO から 5V のトリガーを取り出せるように設定します。

